

会報

No.120

静岡県社会教育委員連絡協議会

事務局 静岡市葵区追手町9-18 静岡中央ビル内 TEL・FAX 054-252-0620
e-mail:shizuokakenkoren@po3.across.or.jp

—◇もくじ◇—

- 地域資源を活用した社会教育活動の実践
- 県社連の事業が決まる
- 地域社会で支える産み育て
- 輝ける表彰
- 社会教育研究大会静岡大会の概要



安全教育①：川流れトレーニング



安全教育②：親子で川流れ



飛込みプログラム：ライフセーバー



参加者集合：事業2日目無事終了

地域資源を活用した社会教育活動の実践

～学校教育と社会教育の一体化と市町の連携について～

河津町社会教育委員会

近い将来、消滅の危機という課題に直面する地域から報告する。

NPO法人豆游義塾は、平成二十七年八月一～二日、河津川において、子どもと保護者、指導スタッフ、ライフセーバーなど、合計百二人の参加者による川遊び自然体験を実施した。

地元伊豆の小・中学生に加え、静岡や三島からも参加があり、「かわづ川の大ガツパから子ガツパへ（秘伝 武の巻）」と銘打ち、川遊びの基本技術とルール、ライフジャケットの着用方法、川の安全な歩き方などを伝え、川の中でのトレーニングを行った。水中観察、川流れ、飛込み、アユカケや手長エビの採取など、参加者は初めての体験に目を輝かせていた。

安全面から、学校教育だけでは難しいプログラムも社会教育との一体化で可能になる。

また、子どもの減少により優れた社会教育プログラムが先細りとなる状況に対して、学校教育との一体化と市町の壁を越えた交流により、活動機会を保障した事例である。

(河津町社会教育委員会副委員長・NPO法人理事長 長田育郎)